

授業科目名： **中国古典に見る指導者の条件**

科目区分： 組織・人的資源（コア）

必修・選択の別： 選択必修（経営人間学系）

配当年次： 1 年次

単位数： 1 単位（学習期間 1/2 学期）

担当教員： 守屋 洋

オフィスアワー（授業相談の受付）：

e ラーニングサイトおよびメールでの質疑応答を受け付けています。

（メールアドレスは大学院グループウェアのアドレス帳でご確認ください）

1. 授業の概要

数ある中国古典の中から、最も基本的な「論語」と「韓非子」を中心に幅広くリーダー論を論じている中国古典の原典の講読と解説を通して、リーダー論についての考察を深める。一つはヒューマニズム（人道主義）の上に立って「徳治」を主張した「論語」、それに対して性悪説の上に立って「法」と「術」による統治を唱えた「韓非子」のこの二冊の対比的な古典を代表的なリーダー論の両極端の例として、古典を通して現代におけるリーダーの条件について、様々な角度から探求を進める。

2. 学習目標

「論語」が求めるヒューマニズム（人道主義）の上に立った「徳治」とは何かについて講読と解説からその時代背景と共に孔子の考えていた思想を学び取る。それに対極する「韓非子」の考える性悪説の時代背景への理解と共に、その基準としている「法」と「術」による統治の考え方や思想を学び取る。またこれに類する中国古典を通して現代におけるリーダーの条件について理解を深めていく。自分には何が欠けているのか。これから、どこをどう磨いていけばよいのか。自分なりの課題を見つけることを目標とする。

3. 授業計画

第 1 章 今なぜ中国古典か－『修己治人』の学

・中国古典が求める指導者に共通する点、その条件を解説する。キーワード：修己治人、經世済民、治國之道在於寛猛得中、君子之交淡若水

第 2 章 孔子のめざしたもの

・中国古典における代表的な思想家である孔子が理想としたリーダー像を解説する。キーワード：徳・智・勇、温故知新、前事不忘後事之師、不易流行、事上磨鍊、不入虎穴不得虎子

第 3 章 信頼される指導者の条件とは－『徳』の教え

・事業を発展させる基礎となる経営者の持つべき「徳」を解説する。キーワード：謙・卑讓徳之基也、寛・寛則得衆、仁・宋襄之仁、信・人而無信不知其可也、義・見利思義

第 4 章 「韓非子」と性悪説

・韓非子の説く性悪説についてその内容、背景を解説する。キーワード：韓非子、性悪説、性善説、荀子、史記、富視其所与 達視其所挙

第 5 章 法と術による統治

・韓非子に見る法と術を用いた統治論、韓非子による理想的な君主像を解説する。キーワード：三国志に見る三様の君主像

第 6 章 危機管理について

・指導者が持つべき危機に対する姿勢を解説する。キーワード：狡兔三窟、塞翁失馬、処變当堅百忍以図成、好死不

如惡活

第 7 章 指導者の条件とは

・中国古典による理想的な指導者像を総括する。キーワード：桃李不言下自成蹊、其身正不令而行 其身不正雖令不從、文質彬彬然後君子、喜怒不形於色、木鶏

4. 受講上の留意点

大学の既定のスケジュール通りに遅延なく受講してください。

5. 成績評価基準

各章のレポート（70％） + 総合レポート（30％）

6. 必読書籍

特になし

7. 参考書籍

・『ビジネスに効く教養としての中国古典』（プレジデント社）守屋洋著

8. その他

なし